

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

防府市立中関小学校

学習指導の工夫

子どもの思いや願いを生かした学習活動を構成し、学びを豊かにする。

自分の思いや考えを伝え合うペア・グループ学習



朝のフリートークでは、グループで友達の話の聴き合い楽しんだ。

算数科の学習では、ホワイトボードを使って、ペアで自分の考えを伝え合った。



成果

○本校の研究の視点である「つながり」を取り入れて学習に取り組んでいる。ペアや少人数のグループ学習を仕組むことで、児童の活動をしっかりと見取り、子どもの思いや願いに沿った声かけや支援を行うことができた。子どもたちは自分の思いを伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることで、友達と学ぶ楽しさを実感していた。

友達や自然、地域とのかかわりを大切にした生活科学習



春・秋・冬と学級ごとに3回公園へ行った。学校の周りの様子や交通ルール、自然の変化を知った。



タブレットPCであさがおの様子を写真に撮り、電子紙芝居形式で記録を残し、友達と紹介し合った。



たらいを使って上靴洗いをした。ブラシの使い方を教え合いながら、協力して活動した。

成果

○友達や自然、地域とのかかわりを大切にしなが、生活科の学習を充実させた。学級を解体して行った「秋のまつり」では、より楽しいコーナーになるようにとグループごとに工夫をし準備することができた。「じぶんでできることをしよう」では、自分の一日の生活を振り返り、自分でできそうなことに挑戦した。続けて取り組むことでできることが増え、それを友達に紹介することで、自分たちの成長を実感することができた。

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立良城小学校

学習環境・指導体制の整備

子どもの実態や変化に対応し、学びを豊かにする安心安全な学習環境・指導体制を整える。

安心安全を感じられる学校の新しい生活様式の構築

- た いおんをはかる
- い つもマスクとハンカチを
もってくる
- せ っけんでてをあらう
- つ かけをためない



養護教諭が作成した感染症予防に係る指導資料。1年生児童に分かりやすい文言を用いることにより、全校体制で感染予防徹底を図った。

掲示物の内容や動線の工夫は、児童の発達段階をふまえたものになるよう配慮を欠かさない。

いちねんせい きょうしつ はい かた 【1年生】教室への入り方

- (1)くつを げそくばこに いれます。
- (2)オープンスペースに ランドセルをおき、
①「けんこうチェックカード」を カードいれに
いれます。
②せっけんで てを あらいます。
- (3)ランドセルをもって
きょうしつへ はいります。
- (4)かばんじまいを します。



【ちゅうい】

けんこうチェックカードを わすれたり、
おうちで けんおんを しわすれたりしたひとは、
ほけんしつに いって、けんおんを しましょう。



支持的風土を醸成する交流場面の設定



月に一度の学年集会「わくわくタイム」。発達段階に合わせたゲーム活動を仕組み、集団行動の楽しさやルールを学んだ。



感染症予防のため、オンラインで実施した「1年生入学おめでとう集会」。ICTを活用したアトラクションで、異学年交流を図った。



コミュニケーションの基本である「自分の立場や考えを明確に示す話し方・聞き方」の学びを大切に授業を仕組んだ。

成果

○スタートカリキュラムを新型コロナウイルス感染症予防に係る行事や教育課程の組み直し及び新しい生活様式の構築を図る一つの視点として活用することにより、1年生児童に対する負担を軽減することができた。

成果

○感染症予防の視点を大切にし、可能な限りの交流場面を仕組み、人とのかかわり方や集団行動のルールを体験的に学ぶことができるようにした。互いの特長や成長を認め合う支持的風土が醸成されてきた。

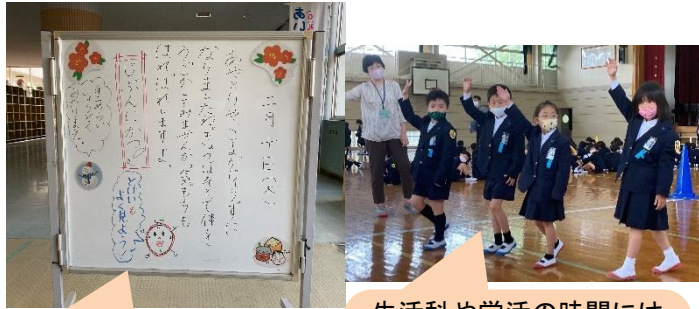
小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立熊野小学校

学校・学年指導体制の充実

学校全体、学年全体の教員の連携により、指導の一貫性を図る。

学年での取組



毎日、ワークスペースの前に1年担任からの児童へのメッセージを貼り出して意識付けをした。

生活科や学活の時間には、必要に応じて学年集会を開き、学習内容や目標を全体で確認した後に、各学級に分かれて活動した。

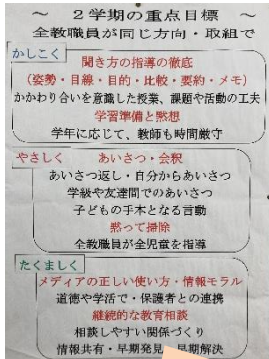


1年生として身に付けさせたい学習のきまりや学校生活のルールを各教室や廊下に掲示した。

成果

○1年担任が定期的に同学年会を行い、全クラスの児童の実態を把握して、成果や課題の共通理解を図り、同じ歩調で指導することで、児童も安心して学校生活を送ることができた。
○学習中の姿勢、鉛筆の持ち方、話し方聞き方、掃除の仕方、整理整頓の仕方等も同じ掲示物で指導し、基本的な習慣を身に付けることができた。

全校での取組



学校評価の結果を受けて職員室に重点目標を掲示した。



学校チャレンジ目標「美・礼・時」を全学年の廊下に掲示し、放送でも呼びかけた。



学期の始まりと終わりには、「みんなで守りたいルール」について生徒指導主任がテレビ放送で話をした。



掃除の時間には、高学年児童が低学年の教室に行き、掃除の仕方を教えながら一緒に掃除をした。あいさつ週間には委員会の児童と一緒に全学級がが輪番制であいさつ運動を行った。

成果

○チャレンジ目標を合い言葉に、委員会の児童や分掌の担当から、昼の放送等を使ってよりよい熊野小にするための呼びかけを行った。
○全校児童が、黙って掃除、気持ちのよいあいさつ、チャイム黙想を意識して生活できるようになっている。
○他学年と掃除、あいさつ運動等を行うことで、よい手本を元に落ち着いて生活ができるようになった。

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立豊浦小学校

学習指導の工夫

子どもの思いや願いを生かしながら、学習活動が楽しく豊かな学びとなる工夫をする。

学習形態の工夫



タブレットを使った学習



友達同士で教え合い



体験から学びへ

あさがおを育てた後に色水あそび

秋の虫探しへ



2年生からおもちチャンドの招待



成果

○体を動かしたり、実際に目で見て確かめたりする体験学習を取り入れることで、楽しんで学ぶ子どもたちの姿が見られた。
○タブレットを使って見つけたものを写真に収めることで、教室に入ってから自ら振り返ったり、観察したりでき、体験から学びへとスムーズに進めることができた。

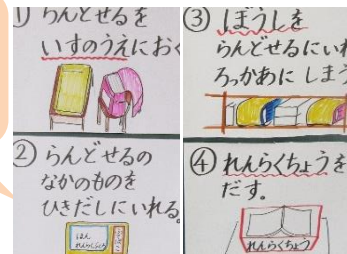
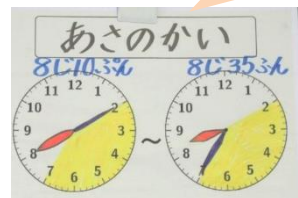
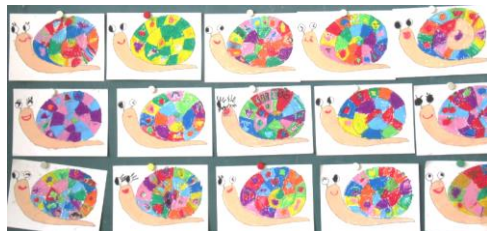
視覚的配慮と工夫



季節を感じさせるものを教室に。できた喜びも味わう。

学校に来たらすることを黒板に掲示することで見通しをもたせる。

何時から始まるのか示す



成果

○言葉だけではなく、絵を示すことで理解しやすく、登校後スムーズに自分の荷物を片付けることができた。
○入学後すぐは、「何をすればよいのか、どうすればよいのか」見えにくい。その課題を少しでも解消できるように、園の環境を知り、小学校で準備することが、子どもの自主性や安心感につながると考えた。

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立安岡小学校

学習環境の整備

集団生活の基本を身に付け、自己の成長を自覚しながら、落ち着いて学べる環境を構築する。

具体的な取組の内容(1)



★6年生サポート
入学してすぐに、
雨合羽の着方や
たたみ方を6年
生に教えてもら
った。おかげで、
昇降口の混乱を
避けることが
できた



★学校巡り
入学して1か月、
学校巡りをして、
生活の場や学
習環境を広げた。

成果

- 入学後わずかな期間ではあるが、朝の時間や掃除の時間に6年生が1年生の自立を促しながらサポートすることで、生活習慣を身に付けることができた。
- 学校巡りを通して、教室、図書室、前庭と少しずつ生活環境を広げることで、学校生活への期待を膨らせ、成長につなげた。
- 今年度も保育士や幼稚園教諭の授業参観、研究協議を行った。スタートカリキュラムの成果等を確認できた。

具体的な取組の内容(2)

★幼・保交流活動
校区内の幼稚園・保育園の友達や先生方と玉入れなどを行って、一緒に活動した。



★2年生との交流
1年生は遊びランドに招待され、2年生の説明を聞いて、ルールを守って一緒に楽しんだ。

成果

- 交流活動を通して、幼稚園教諭や保育士と成長を確かめることができた。また、児童は園児を楽しませることを通して、自己の成長を確認し、小学生としての自覚と成長を促すことができた。
- 2年生との交流活動を通して、進級への憧れと希望を抱かせることができた。
- コロナ禍の状況ではあったが、工夫して交流活動を実施し、有意義な時間となった。